

公表:令和3年11月 30日

事業所名 児童福祉サービスぱれっと

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を 踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		デイルーム内は、小部屋がないがカーテンを設置し指導室を作っている。	部屋が広く児童が集中しにくい環境になっている為、パーテーションなど用意し対応していきたい
	② 職員の配置数は適切であるか	7	1			配置基準の2名は勿論、さらに送迎職員を増員し現在対応中。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2		洗面～児童が使用しやすいように台を用意クローゼット～引き戸と危ない為、撤去自動ドア～作動させず手動。随時、施錠を行っている。	バリアフリーにはなっているが、洗面・クローゼット・自動ドア等の設備は工夫が必要。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	2			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	4			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	5			保護者様の評価を参考に改善すべき点等を改善していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3			年に一度ホームページ内にて公開しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1		外部評価は、コロナ禍の為行っていません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2			コロナ禍の為、研修の数は少ないが、必要とする研修は参加してもらっている。今年は、3名の職員が参加している。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	2			保護者様には、送迎時、電話等での聞き取りを行いモニタリングにさせていただき、職員にはミーティングの際に話しをしている。(個別聞き取りもしている)
	⑪ 子どもへの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	1		アセスメントに関しては、標準化されたものだが、児童応じ項目の追加をしている。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	5			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1			

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		1		職員全員での話し合いはできていないが、常勤職員で決めている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2			日々、児童が楽しめるように工夫している。うまくできていない時はその都度改善の話し合いを行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	2			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4			専用のボードに活動内容・担当の職員を掲示し非常勤職員でもわかるように工夫。やり方については口頭で説明している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3			終了後、ミーティングを実施。参加できない職員も把握できるよう、管理日誌に記載し全員が把握できるようにしている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	4			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2			定期的に、学校・幼稚園・保育園・他事業所等、関連機関との連携をはかっている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	3			通所児童で、数名利用していますが、各関係機関へ訪問させて頂いたり、情報交換は行っている。必要な情報については、全職員が把握できるよう会議で報告や管理日誌に記載し対応している。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	2	1		連絡体制はできているが、連絡する事は今のところない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1			定期的に、情報交換をしています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	3	1		小学部へ上がる時、児童の情報等を書面で提出。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	1		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	2		活動の機会はないが、公園等の施設で遭遇し関わる事が多少ある。

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		5	3		
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	3			送迎時、保護者様へ伝えている。
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	5	1		切り返しが苦手な児童さんへ、家でも出来る絵カードを作成し提供。実践していただいた。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2			契約時に保護者様へ伝えている。施設内、入り口に全員が見れるようにしている。
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8				説明をし同意をその都度頂いている。ただし、長期利用がない児童さんに対しては、説明・同意を頂けていない。
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	5		コロナ禍の為、実施できていないが、落ち着いた時には実施等の検討はしていきたい。
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1			24時間連絡がしやすいよう、メールを活用。営業後の御連絡にも瞬時に対応できるようにしている。
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1			毎月、ばれっと通信を作成し情報を伝えている。
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	1			個人情報の書類は施錠できるところに保管。
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1			連絡帳・メールを活用しやり取りがしやすいようにしています。
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	5	1		コロナ禍の為、現在はできていないが、BBQの時は同施設以外の高齢者施設の高齢者さんを招待していました。現在は、併設施設の高齢者の方のみ招待しています。
	非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	2		
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		8				
㉞ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		7	1			

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	7	1			医師の確認をし何があっても対応できるようにしている。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3			発生時、その都度作成し、全員が把握できるように掲示している
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	3			社内勉強会実施。1月に研修参加予定。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	5			身体拘束を行う可能性のある児童がないたため説明等はした事はないが、必要の児童さんが通所の場合は、しっかり説明をしていきたい。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

|